

# 第6号

平成21年(2009年)4月25日(土)発行  
 発行元: みやけじま『風の家』  
 (三宅島災害・東京ボランティア支援センター)  
 発行責任者: 坂上 幸一郎  
 東京都三宅島三宅村阿古532-1  
 (社団法人 日本建築学会三宅島研修所併付)  
 電話: 04994-5-1470 FAX: 04994-5-1471  
 E-mail: miyake\_kaze@dolphin.ocn.ne.jp

みやけじま『風の家』でくりかえされる日常の中で、人と人との間に灯される「やさしさ」を切り取っています。  
 多くの方が“やさしく なかよく”つながっていることの大切さ。  
 ただそれだけを見つめて・・・



## (^\_^)~ まってました! お花見ウィーク!!

「今年もそろそろかなあ?」  
 「もう咲き始めたよ!」という声が聞かれ、待ちに待った『お花見』の時期がやってきました。毎年の恒例となったお花見。お天気にも恵まれてポカポカ陽気の中、さあ! 出発です!



伊豆老人福祉館の庭に咲いた満開の桜を前に、自然と笑顔があふれてきます。



児童公園(浅沼稻次郎公園)の桜も、これまたお見事です

「楽しそうですねえ」と、ちょうど取材に来ていたNHKのお二人も仲間入り。「ゆうどきネットワーク」(NHK第1放送) 5月1日 午後5時から6時(予定)にて放送



桜の下で、おしゃべりをしたり歌をうたって、楽しい一日を過ごすことができました。このプログラムにご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。人が集い、心を通わせることでとても素敵な時間が創り出されるということを改めて感じる事ができました。



お日様の下で食べるお昼ご飯は、また格別です。

## ( ^ ) / 『災害に学ぶ～ニューオリンズと三宅島』 開催されました



ニューオリンズを襲ったハリケーン災害と三宅島が遭遇した噴火災害。

このプロジェクトは、双方の復興に関わる様々な立場の人々の交流を通じて、それぞれの地域での復興と広く社会に役立てようとするものです。

4月16(木)に16名の参加者・オブザーバーが来日されました。17(金)は、墨田区長から区内における治水に対しての取組を伺うとともに意見交換が行われその後、水門・防波堤などの視察を行いました。午後には、日本側参加者も合流し円卓会議を行い「三宅島噴火災害における市民活動の経過」を糸口いくつかのキーワードを見出すことができました。

18(土)は、午前中に墨田区防災拠点として取り組まれている「白鬚東都営住宅」を視察し、午後には「公開シンポジウム」が行われました

19(日)は、「ボランティア」「ホームレス支援」「生協と農業」という3つのテーマに分かれての活動を行いました。

そして20(月)。昨年訪米の際、日本側参加者として参加した平野村長からの呼掛けを受けて、5名の参加者が三宅島に来島しました。

三宅島に到着した一行は、三宅中学生や三宅高校生との交流や、島内関係者との意見交換会などを行いました。

島でくらす人々との交流を通じて、「復興に欠かせないことは、人と人との支え合いが不可欠であり、ニューオリンズでもそれは同じく大切なことだと改めて感じた」との声も聞かれました。



「やさしさ」が交わされた、とても嬉しい時間を過ごしました。

今回のプログラムを通じて、多くのことを感じ考える機会となりました。

良い出会いは、とても大切なものですね。

## ( ^ ) / 「風の家」一緒にしませんか！！

『風の家』では、日頃の活動の中で、「ボランティア」としてご一緒にいただける方を、引き続きお待ちしています。

『風の家』での約束事は「やさしく」そして「仲良く」です。



目には決して見えないものですが、きっと人と人との良い出会いは、「くらし」の中でとても大切なものだから…

ぜひ、お気軽においでください。

## ( ^ ) / ご支援いただきありがとうございます

みやけじま『風の家』は月曜から土曜までの、朝10時から夕方3時まで開設しています。

(日曜・祝日・年末年始はお休みです)

お近くにお越しの際は、どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。